

# 溶接ニュース

産報出版株式会社  
東京本社(〒101-0025)  
東京都千代田区神田佐久間町1-11  
産報佐久間ビル 電話03-3258-6411  
FAX03-3258-6430  
関西支社(〒556-0016)  
大阪市浪速区元町2-8-9  
難波ビル 電話06-6633-0720  
FAX06-6633-0840  
年間購読料:24,468円(税込み)

## レーザー加工学会

# 第79回講演会で議論活発

## ポスター展、13社が参加

レーザー加工学会(片山聖二会長)は5月7・8日の2日間、吹田市の関西大学100周年記念会館で「第79回レーザー加工学会講演会」を開催した。初日冒頭、片山会長が挨拶し「レーザー科学と生産技術の融合を目的に活動する同学会の概要を説明。今回の講演会が実行委員会の大村悦二委員長(大阪大学)、中原住雄副委員長(関西大学)は



片山会長

じめ多数の委員によって運営されること、今年7月に新潟市中央区で国際会議「LAMP2013」が開かれること、同学会が昨年9月に一般社団法人に移行したことなどを説明した。続いて11件の講演が行われ、「配管内壁検査・レーザー補修のためのプロセスシステムの高度化」(日本原子力開発機構・富吉健太郎氏)、「噴射素材リサイクルを可能にするレーザー支援微粒子噴射成膜法の提案」(上智大学・仁科翔平氏)、「CO2レーザーを用いたガラス材料へのドーピング方法」(奈良工業高等専門学校・中村圭吾氏)など各発表に質疑が集中し活況を呈した。ポスター展示では13社が出展。インテックが独自スキャンロボットのリモートヘッドを紹介。前田工業は5kwワット対応レーザー溶接加工ヘッドをアピールするとともに、今秋30kwワットファイバーレーザーを導入すると予告した。トルンプはレーザー機器Truシリーズのラインアップと次世代型のTruDisc6C、ワイイー・データはメカトロリンク対応ガルバノスキャナコントローラ、フェイラは切断と溶接に利用できるハイビームクオリティを持った波長合成DLEテクノロジー、イムラアメリカはフェムト秒レーザーの研究、KUKAロボティクスジャパンはレーザー溶接に適した30/60kw可搬の高精度ロボットによるリモート溶接をそれぞれ紹介した。



13社が参加したポスター展

午後からの基調講演では「レーザーと当社の経営戦略」(片岡製作所・片岡宏二氏)、「パルスレーザーの機械的作用を用いた高機能分子デリバリーシステム」(防衛医科大学校・佐藤俊一氏)の2

講演を行った。

この後、2日間にわたって特別講演9件と研究論文発表22件、研究会趣旨説明1件が展開された。このうちレーザー溶接に関しては、「鉄道車両構体製造へのレーザー溶接の適用」(近畿車輛・土居茂氏)、「スズキにおける車体部品へのレーザー接合適用事例」(スズキ・萩原幸氏)、「高出力ファイバーレーザーの最新開発動向」(IPGフォトリニクスジャパン・澤田昌毅氏)、「TWILaser A

dditive Manufacturing」(ドッドウェル・福田哲夫氏)について発表。

レーザー切断に関して「金属切断の現状と展望」(中央大学・新井武二氏)と「CFRPなどの複合材料のレーザー加工の現状」(最新レーザー

技術研究センター・杵名宗春氏)の特別講演2件を筆頭に、「切断用ファイバーレーザー加工機の最新技術の紹介」(三菱電機・西田聡氏)、「ファイバーレーザーによるステンシル材の切断」(日本車輛製造・藤澤佳生氏)が発表された。